

最近ニュースなどで、大手企業が海外事業から撤退・移転するといった、いわゆる海外事業再編という言葉聞く機会が増えてきました。海外へ進出している中小企業にとっても、どのようなものか改めて知っておく必要があります。

最近では、大手企業のみならず、中小企業の海外展開も加速傾向にあります。海外の良質かつ安価な労働力の確保だけでなく、海外市場における販路拡大に期待を寄せて進出する

## 中小企業 海外展開のツボ

中小企業が増えています。一方で、海外事業再編に関する各種アンケート調査によると、すでに海外展開(直接投資)を行っている中小企業のうち、海外進出先における事業再編を経験した、または検討している割合が3割を超えています。

海外事業再編とは、進出先における事業の縮小・撤退、第三国への移転などのことを言います。日本本社

または現地法人の経営が悪化し、結果的に進出先の縮小・撤退を余儀なくされることもあれば、さらなる自社の成長を目指した戦略的な縮小・撤退、第三国への移転に取り組む場合もあります。

海外事業再編を経験した中小企業が事業再編に至った主な理由は①進出前の計画不備・準備不足②現地での商習慣・文化・経営環境の違い③

## 事業再編、経営にも影響

SOMPOリスクアマネジメント執行役員 原 敬徳氏

現地での不十分な経営管理——などがあります。また事業再編する上での課題は①投資資金の回収②現地従業員の雇用整理③現地政府・法制度への対応——が挙げられます。

上記の理由や課題が複合的に絡み合うことにより、結果として、自社の経営そのものに影響を与えかねないことも中小企業による事業再編の特徴の一つです。

### 海外事業再編に至った理由

- ①進出前の計画不備・準備不足
- ②現地での商習慣・文化・経営環境の違い
- ③現地での不十分な経営管理など

### 海外事業再編の課題

- ①投資資金の回収
- ②現地従業員の雇用整理
- ③現地政府・法制度への対応など

2017年2月15日  
日経産業新聞